

HIP 11月茶道教室 上田宗箇流 ～日本文化体験～ 11/7 ひろしま国際プラザ

HIP November Tea Ceremony Class, Ueda Soko School ～Experiencing Japanese Culture～ Hiroshima International Plaza, 11/7

自然の様々な様相は日本の茶室に取り入れてあります。それぞれの季節が茶道ではテーマと考えられます。次のような季節の題材を表すものとして選ばれます。例えば「秋のテーマ」では、二種類の菓子はピンクの山茶花と淡い紅葉が秋を表現し、掛け軸の景色絵には上方に満月が配置され（先生によると百年前の作だそうで）、生け花（菊の花など）があるという具合です。これらは皆今日のお客を心からもてなすためのものです。日本人の美学とか禅の精神から考えられたものと思われます。日本人の感受性と自然の関係について先生が説明されると、南米から来られたお客が、季節の題材ということにふれて、その地方の風習について話をされました。インカ文明が残る地域では太陽崇拝があり、季節の節目（至点とか分点）に、その伝統が祖先から後裔に伝わっているということです。その人が語るのを聞くと、突然、南のその場所とインカの行事が目に見え、北半球のここから見えるような気がしました。さらに、ついこの前に見た「スーパー・ムーンとかミラクル・ムーン」などの宇宙的なことを考えてしまいました。日本では旧暦があるし改暦の歴史があります。とにかく、この茶道教室は「一期一会」です、そして一種の詩的な感じもするものです。